

事例に学ぶ

「農商工連携事業」の進め方

連携のポイントは？ 法認定の取り方は？ 事業成功のためには？

1、「農商工連携事業」とは・・・。

- ① 農商工連携の目的は、効果？ 効率？
- ② 4 類型の i : 「新商品の開発」の取り組み
- ③ 4 類型の ii : 「新サービスの提供」の取り組み
- ④ 4 類型の iii : 「新しい生産方式又は販売方式の開発」の取り組み
- ⑤ 4 類型の iv : 「多様な連携」による取り組み

2、「法認定事業」の推移

- ① 関連法制定の推移
- ② 関東ブロックの認定件数
- ③ 法認定のメリット
- ④ 群馬県内の「法認定事業」の概要

3、川場村「永井酒造(株)」の事例について

- ① 連携の枠組み
- ② 事業概要、認定までの取り組み
- ③ 今後の事業展開

4、その他の「法認定事業」について

- ① 事例研究の枠組み
⇒コンセプトの3本柱を使って事例を整理する
- ② 株式会社横倉本店
⇒プロバーテンドーの監修による栃木県産の「農産物を使ったカクテル」の開発と販売
- ③ 有限会社佐賀ダンボール商会
⇒世界初！陶磁器製〇〇〇等の有田焼高付加価値商品開発及び販売
- ④ 羽州観光開発株式会社
⇒「天然記念物・獅子ヶ原湿原」を活用した「癒しと学びの〇〇〇〇〇〇プログラム」の開発とブランド確立

5、企業の価値観、発想方法を変える

- ① 大企業の考え方
- ② 中小モノづくり企業、顧客志向の中小企業の考え方

6、売るための情報発信

- ① 商品のストーリーを伝える
- ② 顔を見せる ⇒生産者、加工者、顧客

7、行政に求められる機能とは・・・。

- ① 魅力ある事業コンセプトこそ、事業者を惹きつける
- ② 連携目的を「補助金から、事業展開・地域振興へ」・・・
- ③ 事業コンセプトの3本柱を使って、魅力あるコンセプトを提示する

ご相談、お問い合わせは、下記までお願いします。



中小飲食店の専門コンサルティング
代表取締役 **鈴木 秀樹**

有限会社 三峰プロジェクト
〒371-0846
群馬県前橋市元総社町151-5-303
e-mail sumpoo@kk.ijj4u.or.jp
TEL/FAX:027-252-0116 携帯:090-3042-9990
中小企業診断士、販売士1級、経営支援アドバイザー